

精神看護学方法論	2年・後期	2単位	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210832

1. 授業のねらい・概要

精神看護学の基礎となる、精神医学の基礎的な知識（精神症状および精神状態像）を把握し、代表的な精神障害について、病態、症状、経過、診断、治療、看護等の概略を理解し、精神の健康問題をもつ人への看護を展開するための知識と方法を理解する。

2. 到達目標

1. 精神症状について理解できる。
2. 主な精神疾患の治療と看護が理解できる。
3. 精神障害の治療法について理解できる。
4. 精神科リハビリテーションについて理解できる。
5. 精神障害者の家族支援・家族看護について理解できる。
6. 精神疾患患者の看護過程が理解できる。

3. 授業の進め方

講義・演習を中心に進める。

4. 授業計画

1. 精神障害者の抱える症状の理解 2. 神経症性障害、ストレス関連障害の治療と看護 3. パーソナリティ障害、心理的発達障害の治療と看護 4. 精神作用物質使用による精神・行動の障害の治療と看護 5. 生理的障害、身体的要因に関連した行動症候群の治療と看護 6. 気分障害の治療と看護 7. 精神科で行われる主な治療と看護 8. 精神科リハビリテーション	9. 精神障害者の家族支援・家族看護 10. 統合失調症の治療と看護 11. 看護過程①精神看護学における看護過程の特徴とアセスメント 12. 看護過程② 演習：事例・分類 13. 看護過程④ 演習：事例・アセスメント 14. 看護過程⑤ 演習：事例・関連図 15. 看護過程⑥ 演習：グループ発表・まとめ
---	---

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度（10%）、定期試験（90%）を総合して評価する。

6. テキスト・参考文献

系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院
系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

テキストの予習（30分程度）をしておくこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。